



—地域共生社会を担う老人クラブ—

一般財団法人奈良県老人クラブ連合会事務局長 川端 英志 さん

「老人クラブ」をご存知ですか。会員でない方もその名称から「高齢者の親睦団体」といったイメージを持たれるのではないのでしょうか。奈良老人クラブ連合会は戦後の経済成長期に「老後の幸せは自らで創り出そう」と発足し、「健康・友愛・奉仕」を基本理念として創立以来50年を超える歴史を持ち、現在7万人を超える会員がいます。

■老人クラブの取組

奈良県でも100歳以上の方が1,000人を超えるほど高齢化が進む中で、高齢者を取り巻く環境も大きく変わってきています。高齢者をねらった振り込め詐欺や悪質な訪問販売、高齢者への虐待・孤独死などについて毎日のように報道されています。

老人クラブでは高齢者をねらった消費者被害を防止するため、学習会を開催したり、「訪問販売お断りステッカー」を各会員宅の玄関に張り付けるなど地域全体で被害防止の取り組みを進めています。

また、一人暮らしの高齢者が増える中、会員が一人暮らしの高齢者を定期的に訪問しています。元気に過ごしていますかと声をかけたり、手芸教室で学んだ手作りの作品に心を込めたメッセージを添えて手渡し、久しぶりにゆっくり話げできた嬉んでいただいています。

地域の集会所や空き家等を活用してサロン活動を始めるクラブも増えてきています。一人での外出が難しい方には近くの会員が送迎することもあります。お茶を飲みながら近況を語り合ったり、健康体操や、軽スポーツで体を動かしたりしてリフレッシュしています。

■老人クラブの課題と今後

発足以来会員数を伸ばしてきた老人クラブですが、ここ十数年会員数が減少する傾向にあります。これには老人クラブのリーダーの高齢化や後継者不足、高齢者を対象とした行政や民間のサービスが増えたことにより老人クラブの会員でなくても活動できる機会が増えたこと、後期高齢者の割合が増えたことなど、いろいろな要因が関係していると考えられます。

しかし将来3人に1人、更に2人に1人が高齢者となり、高齢者が高齢者を支えなければならない社会の到来が予測されるなか、老人クラブには今後も大きな役割が期待されます。

地元企業と連携した割引サービスなどを展開して会員を増やしているクラブもあります。これら元気に活躍しているクラブとの情報交換や地域間交流を深めるなどして老人クラブ全体を活性化し、それぞれの地域で、仲間をつくり、一緒に楽しく健康に暮らせる取り組みを進めていきます。